

地域病院とがん治療 広報げろ 2008.8

地域病院とがん治療

人はいつかがんで死ぬといわれるほどにがんは日本人の死因の第一位を占めています。これはがんを病む人がそれほど多いということであり、地域を維持していく上においてもがん対策は大変重要と考えます。金山病院もがんの診療には力を入れ皆さんのご要望にこたえるべく努力しています。ここで大変残念なことは、当地域ではまだ、進行して発見されるがんも多く、また、遠くの病院で手術して経過観察のための通院が不十分なために、合併症で苦しんだり、再発の発見が遅れたりする人たちがいるということです。このような課題に対処するためにも地域の病院の果たす役割は大変大きなものがあると考えます。

◎がん治療はまず近くの病院で

がんの手術の多くは手術方法も確立されており、地方の病院でも行われ、金山病院でも胃がん、大腸がん、乳がんなどの手術を行い地域の要望にこたえています。地方病院でがんの手術を行うのには大きな理由があります。がんはその性質上手術ばかりでなくその後のきめ細かな経過観察が大変重要で、さらにはがんの末期を迎えた患者のケアも欠くことができません。そのために病院が通院可能な地域にある必要があるからです。

◎専門病院と連携したがん治療

金山病院では検診などでがんの疑いがある受診されますと、諸検査の上で手術のご希望に応じています。もちろん金山病院の能力には限りがあり癌の治療に際しては場合によって大学病院やがんセンターとの病病連携を積極的に行っています。癌の診療は手術ばかりでなく特殊な機器を使用した診断や治療が必要な場合もあり、的確な診療経過情報を元にその人にあった治療計画を立て、進めていくことが必要です。金山病院ではご希望に応じ、金山病院を基地として各種専門病院との連携した治療をお勧めし地域での生活を支援していくことを目指しています。情報を共有しよりよい治療を目指すためにもまずは金山病院をお訪ねください。

◎がん治療と救急医療

金山病院ががんの手術を行っているのにはもうひとつ理由があります。救急医療にはがんの手術の技術、体制が応用されます。救急患者の救命処置が出来なければ確ながんの手術、麻酔、術後処置もかないません。またその逆も確かです。

◎医師確保、病院維持のために

さらに金山病院が手術を積極的に行っているのは、医師確保のためです。手術の無いところには医師は来ない、医師が来なければ救急も、内科も外科も小児科も病院も無くなる、病院が無くなれば困るのは地域です。

がんの治療は地域の維持を医療の面で支える病院の使命と考えます。皆様方には病院の適正利用と、来るべき病院建設にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦